

学校だより～平成29年度（後期）臨時号～

京都市立春日野小学校 校長 三上 直美



保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと思います。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成29年度後期の学校評価アンケートですが、「175」の回答をいただきました。回収率としては約62%，お忙しい中にもかかわらず、多数のご協力ありがとうございました。

◎アンケート結果から

「授業はよく分かる」という項目では、子どもの89%が肯定的な回答をしています。子どもに付けたい力を明確にして授業に取り組んできたことの成果だと思います。具体的には、自分の考えをノートにまとめ、グループの友達に伝え、自分の言葉で意見のやりとりをする学習を積み重ねています。相手意識をもち、自分の思いや考えを伝える場面を学習の中に必ず設けることで、「話せた」「聞いてもらえた」という喜びを実感できるようにしてきました。このことが、学級・学年や全校といった大勢の人の中でも、静かに、話し手の思いを想像しながら聞ける春日野校の子どもたちを育てています。しかし、すべての子どもたちに十分な力を付けることができていない現状を真摯にとらえ、授業力を高めていけるよう研鑽を図っていきたいと考えています。

「学習予定表を使って、予習や復習、用意をしている」という項目では、88%の子どもが「できている」という回答をしており、定着はしてきましたが、宿題以外の学習方法についてどのように取り組むか具体的な例示を行ったり、子どもの関心を持続させたりしていくことが今後の課題になると思います。ジョイントプログラム等の各種調査の結果を見ても、京都市平均を下回っている学年があります。授業で「わかった・できた」と思っていても、十分に定着していないと言えます。学んだことを復習して、確実に自分の力にできるような学習習慣をいかについていくのかを考え、進めています。

あいさつについては、小中連携の取組である児童会・生徒会のあいさつ運動等をきっかけに、ここ数年で少しずつ改善してきましたが、保護者や教職員から見るとまだ満足いく状況になっていないのが現状です。相手に聞こえる声で、自ら進んで気持ちの良いあいさつをすることを学校でも指導していますが、引き続きご家庭や地域においても子どもたちへの声かけをお願いいたします。



学校教育目標

「自分で考え進んで学び、自分の未来を切り拓く子の育成」

目指す子ども像

かんがえる子 すすんとする子 がんばりとおす子 のびのびいきいきげんきな子

◎基本的生活習慣について

毎朝、各教室での健康観察や年間3回の生活調べ等を通して、日々の生活習慣の見直しを図ってきました。睡眠・食事の大切さは、保健指導・給食指導の中でも行っています。これらの基本的生活習慣が身についてこそ、運動や学習に力一杯取り組むことができると思っています。子どもたちも頭では理解していても、生活の中では思うようにはできていない面もあるようです。

体づくりについては、休み時間も元気に外で遊んでいる子どもがたくさんいます。反面、教室で過ごす子どもも見られるので、健康な体づくりのためにも、雨の日以外は外で思いっきり走り回ってほしいです。これからも引き続き、学校と家庭がともに声を掛け合い、日々元気な姿で登校できるように取り組んでいきたいと思います。

◎学校運営協議会の方々から

<確かな学力の育成について>

家庭学習は、毎日とまでは言わないが、できる限り親が一緒に見るようにしてほしいです。また、できなかった問題は見直し、最後までやり切ることを教えてほしいです。その積み重ねが、確かな学力を向上させることに繋がると思っています。

<豊かな心の育成について>

親は料理をしている時などでもいいので、その日のことについて、子どもに一言声をかけることが大切だと思います。挨拶については、全体的によくしてくれます。さらに自ら進んで挨拶ができるようになれば嬉しいです。

<健やかな体の育成について>

公園でゲームをしている姿も見られます。時間を決めてゲームを行い、外でたくさん遊び、健やかな体をつくっていってほしいと願っています。

